



平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期マイルストーン開示に係る事業計画の修正について

平成 23 年 2 月 4 日

上場会社名 株式会社ユビキタス

(コード番号：3858)

(URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>)

問合せ先 代表取締役社長 家高朋之

経理財務部長 椰木玲子

TEL：(03) 5908 - 3451

平成 23 年 2 月 4 日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、平成 23 年 3 月期の業績予想の修正に伴い、マイルストーン開示に係る事業計画につきまして、下記の項目を修正いたします。

記

1. 今後の業績目標 平成 23 年 3 月期
2. 各事業年度の計画達成のための前提条件に係る事項 (2) マイルストーン開示に係る事業計画の概要 ■形態別売上高目標内訳 平成 23 年 3 月期

なお、上記以外の項目につきまして、変更はございません。

1. 今後の業績目標 (平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期)

【修正前】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 23 年 3 月期 (計画)	1,210	400	400	240
平成 24 年 3 月期 (目標)	1,370	500	500	300
平成 25 年 3 月期 (目標)	1,600	610	610	360

【修正後】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 23 年 3 月期 (計画)	1,320	560	560	336
平成 24 年 3 月期 (目標)	1,370	500	500	300
平成 25 年 3 月期 (目標)	1,600	610	610	360

*平成 23 年 3 月期については費目ごとに予測金額を積上げた計画値、平成 24 年 3 月期以降については市場環境や企業規模の拡大見通し等を加味した推計値を記載しております。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2. 各事業年度の計画達成のための前提条件に係る事項 (2) マイルストーン開示に係る事業計画の概要 ■形態別売上高目標内訳 平成 23 年 3 月期

【修正前】

	ソフトウェア 使用許諾	サポート	ソフトウェア 受託開発
	百万円	百万円	百万円
平成 23 年 3 月期 (計画)	980	100	130
平成 24 年 3 月期 (目標)	1, 120	110	150
平成 25 年 3 月期 (目標)	1, 300	130	170

【修正後】

	ソフトウェア 使用許諾	サポート	ソフトウェア 受託開発
	百万円	百万円	百万円
平成 23 年 3 月期 (計画)	1, 084	57	179
平成 24 年 3 月期 (目標)	1, 120	110	150
平成 25 年 3 月期 (目標)	1, 300	130	170

*平成 23 年 3 月期については費目ごとに予測金額を積上げた計画値、平成 24 年 3 月期以降については市場環境や企業規模の拡大見通し等を加味した推計値を記載しております。

なお、分野別売上高については、顧客企業との守秘義務の関係で、顧客数及びプロジェクト数の少ない四半期においては開示を差し控えております。そういった障害がなくなった時点で分野別売上高を開示する予定ですが、第 4 四半期終了後には通期のマイルストーン開示にて開示する予定です。

■前回のマイルストーン開示（平成 22 年 11 月 12 日発表）からの変更点

平成 23 年 3 月期第 3 四半期累計期間においては、ネットワーク関連のネットワーク分野及びゲーム分野においてロイヤルティ収益が好調であり、第 4 四半期においても堅調な業績が見込めるため、平成 23 年 3 月期のマイルストーン開示に係る事業計画について業績目標及び形態別売上目標内訳の修正を行いました。

以下に各年度における見通しを記述いたします。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

平成 23 年 3 月期

前回計画では、平成 23 年 3 月期に売上高 1,210 百万円（経常利益 400 百万円）という業績目標を掲げておりましたが、売上高 1,320 百万円（経常利益 560 百万円）に修正致します。

当第 3 四半期における当社業績は、第 2 四半期に引き続きエコポイント効果による弊社製品搭載の家電機器の販売が好調であったことから、ネットワーク分野におけるロイヤルティ収益が大幅増となりました。また、ゲーム分野においては、2 月に発売が予定されている携帯型ゲーム機の新機種「ニンテンドー 3DS」の従来機種との互換機能にかかるロイヤルティの一括計上があり、さらに、第 4 四半期においても全分野について堅調に推移すると予想されることから、売上高においては当初業績目標を 110 百万円（前回予想比 9.1%増）上回る見込みとなりました。

一方、損益面につきましても、売上高の増加に加え、下期に発生を見込んでおりました開発費用、営業マーケティング活動費用、及び経費の圧縮等を要因に、営業利益、経常利益、及び当期純利益について前回業績目標を上回る見込となり、上記のとおり業績目標及び形態別売上目標内訳を修正いたします。

平成 24 年 3 月期及び平成 25 年 3 月期

平成 24 年 3 月期以降の見通しにつきましては、現在検討中であり、決定次第お知らせいたします。

以 上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。